

ニュースリリース

フランクフルト

2021 年 1 月 20 日

DWSとWWFの調査が浮き彫りに:もはや水資源リスクを無視できる状況にない

DWS は、世界最大の独立した環境保全団体である WWF（世界自然保護基金）と共同で、水資源のリスクと機会をよりの確に捉えた上で投資行動に活かすことの重要性を強調した新しい調査報告書を執筆しました。水資源リスクの重要性は、世界経済フォーラム (WEF) が毎年発表している「グローバルリスク報告書」でも明らかにされています。

DWS と WWF は、水資源リスクに対処するためには包括的なアプローチが必要であるという認識を共有しています。政府、監督当局、規制当局による強力で野心的な政策が求められ、それによってこの分野へ変革をもたらすことができる規模の投資資金につなげるための経済的インセンティブを創り出すことが必要です。これは、資金調達規模を拡大し、ESG への社会的な関心の高まりを好機ととらえる上でも重要なことです。

WWF ならびに DWS のリサーチ責任者であるフランチェスコ・クルトは、上記の理由を次のように説明しています。

- 社会と経済に壊滅的な影響を及ぼす可能性: 現在、世界で 7 億 8,500 万人が、飲用に適した基本的な水源を持たず、20 億人が基本的な衛生設備を利用できていません。劣悪な衛生状態が原因となり、2017 年には約 160 万人が亡くなっています。さらに、世界の河川、湖沼、湿地帯の環境が引き続き悪化し、水資源にかかる圧力が持続的に対応できる水準を超えた場合、2050 年までに世界の人口の 52%、GDP の 45%、そして穀物生産の 40%が高い水資源ストレスに直面すると推定されています。
- 水資源リスクに対処しなければ、将来のパンデミック(感染症の世界的大流行)リスクが増大: 気候変動と自然災害の危機に対処できなかった場合、水資源危機の深刻化により、動植物の生息環境の加速度的な破壊や、自然環境の復元力低下を引き起こし、ひいては将来のパンデミックリスクを増大させることとなります。
- 我々は潜在的な水資源の危機への備えがほとんどできていない: WEF は、2012 年から 2020 年までのグローバルリスク報告書の中で、「水資源リスク」を影響度別リスクの上位 5 つのうちの一つに挙げてきました。2021 年の報告書においては、水資源リスクを内包する多くのリスクが、可能性と影響度の両面で上位を占めています。にもかかわらず、それに対処するための行動は気候変動リスクへの対処に比べてはるかに限られています。このような状況の中、WEF は毎年のグローバルリスク報告書の中で感染症やパンデミックの危険性を継続的に指摘してきましたが、2020 年に発生した新型コロナウイルスに対しては、世界の大部分は全く準備ができていませんでした。このことは、リスクを特定するだけでは不十分であり、備えと管理がより重要であることを示しています。

DWS と WWF が共同執筆した調査報告書は以下のリンクより全文をご覧ください。

[Water risk: what COVID-19 has taught us about ignoring systemic risks and what to do about it\(英語\)](#)

当ニュースリリースの原文(英語)は[こちら](#)

ご留意事項

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにDWSグループが作成・発行したものをドイツ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳して提供しておりますが、正確性・完全性についてドイツ・アセット・マネジメント株式会社が責任を負うものではありません。日本語訳とオリジナル英文資料の内容に相違がある場合には、英文資料の内容を優先します。当資料に記載の見解や見通し等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

DWS グループ

DWS グループ（以下DWS）は、約7,590億ユーロ（2020年9月末時点）の運用資産残高を誇る世界有数の資産運用会社です。60年以上の運用実績を有し、ドイツおよびヨーロッパ各地、アメリカ、アジアにおいて優れた運用体制への評価を確立してきました。そして現在、DWSは世界のお客さまから、資産運用のあらゆる分野における総合的なソリューション、持続性および革新性を提供する運用会社として信頼を集めています。

DWSは個人および機関投資家のお客さまに対し、その強固な運用体制を基盤として、すべての主要な資産クラスへのアクセスと成長トレンドを適切に捉えた資産運用ソリューションを提供します。アクティブ、パッシブそしてオルタナティブ運用における多岐にわたる専門性と、ESG（環境、社会、企業統治）投資における積極的な取り組みは、お客さまの期待に応えるソリューションを提供する上で補完的な役割を果たします。エコノミスト、リサーチアナリスト、運用プロフェッショナルが有する専門性と現地に根ざした調査は、DWSのグローバル投資見通しである「CIO View」に集約され、それが戦略的な運用アプローチ策定の根幹となっています。

DWSでは約3,400人のスタッフが、一つのグローバル・チームの一員であるという高い意識を持ちつつ、各国・地域に精通する専門家として活躍しています。我々は資産運用に革新をもたらし、未来に向けた資産運用ビジネスを形作ることを目指しています。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社は、DWSグループの日本における拠点であり、投資信託ビジネス・公的年金・企業年金運用の長年にわたる経験、ノウハウ及び実績を有します。グローバルな運用体制と独自の洞察力を駆使した質の高いサービスをご提供するとともに、日本市場の資産運用ニーズに的確にお応えすることを目指します。